

令和6年度 生徒総会 ～スローガン決定～

『COLOR～輝かせよう 一人一人の色を～』

5月15日(水)に生徒総会が行われ、今年度の生徒会スローガンが承認されました。このスローガンには、執行部の「生徒一人一人の個性をこれからの学校行事を通して発揮してほしい」「全校生徒で協力して宮古北高校を盛り上げていきたい」という願いが込められています。生徒の皆さん自身が宮古北高校の主役です。勉強、部活、学校行事、ボランティア活動等に積極的に参加し、個性を輝かせてください。また、「生徒会行事の充実化」「挨拶・礼儀」「ボランティア活動の推進」「部活動の奨励」の4つの生徒会活動方針も承認されました。大きな学校行事であるオリンピアと宮北祭も全校生徒の力を合わせて、成功させましょう！

生徒の皆さんから多くの質問や意見が出され、活発な生徒総会でした。予期せぬ出来事もあったようですが、議長を務めた3年伊茂野 愛里さんと2年佐々木 優花さんが臨機応変に議事進行してくれました。また、生徒同士で助け合う場面も多く見受けられ、北高生の優しさを垣間見ることができました。



高みきた新聞

令和6年5月20日

5月号

発行: 宮古北高等学校

学 ぶ 防 災

田老地域の歴史や震災について学ぶ

県の「いわての復興教育スクール事業」の一環として、一年生は五月十日(金)総合的な探究の時間に防災学習を行いました。たろう潮里ステーションのガイドさんから震災前の田老の模型を用いて、過去三回の津波の被害等の説明をいただきました。その後、現在の防潮堤や震災遺構「たろう観光ホテル」を見学しました。同ホテルで撮影された震災直後の映像を視聴しました。現地で学習できたからこそ、より一層防災意識の高揚を図ることができました。

伊藤 大智さんは「何があってもまっさきに逃げる事が大事」、松本 優美さんは「小中学校で学んだ事を今回さらに深められた」と成果を話してくれました。また、両名とも「改めて津波の恐ろしさを感じた」と感想を述べてくれました。



高総体壮行式

の言葉を述べました。校長先生は、ゆずの「栄光の架け橋」をギター演奏しながら歌い、選手を鼓舞しました。勝つことだけが栄光ではない、努力を積み重ねることが、既

五月十五日(水)二回目の宮北の森が行われ、そこで高総体壮行式を実施しました。高総体に出場するバドミントン部と卓球部の選手が、一年大山 廉示さんの先導の下、堂々と入場式が始まりました。生徒会を代表し、三年佐々木 陽楠葵さんが「これまで培ってきたことを思う存分発揮してください」と激励

田老大漁まつりボランティア

五月十二日(日)田老大漁まつりが開催され、本校生徒十一名がボランティアに参加しました。酒井 法子さんが来る場するということもあり、当日は多くの人が押し寄せました。その中でも、本校生徒たちはいきいきと仕事をし、地域の方々より褒めの言葉をいただきました。



栄光である。迷うことなく戦ってきてください、と激励してくださいました。バドミントン部は二年関川 暖人さん、卓球部は一年福士 康介さんがそれぞれの部を代表し「精一杯戦ってきます」と力強く宣言してくれました。健闘を祈ります！高総体の様子は六月号に掲載します。お楽しみに。



お知らせ
学校ウェブページ、ノートへのアクセスがしやすいようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。

ノートのページ

学校ウェブページ

宮古北高校では、体験学習や探究活動を推進し、思考力・判断力の育成に努めており、また、職業理解を深めるフィールドワークや、地域での農業体験を行うなど、学校全体でキャリア教育に取り組んでいます。学校規模としては大きくはありませんが、生徒が主体となり力を合わせて教育活動を展開しています。生徒のボランティア活動を充実させ、地域に貢献して参りますので、ご支援ご協力をお願い致します。
令和六年五月二十日
文責 宮古北高校副校長